NEWS Letter

Enjoy!! NOZAWA Life !!

KEN TIMES

2023年 12月号

皆さまも心穏やかで、
楽しい２０２４年を！

ごあいさつ

まだ日は残っておりますが…皆さま、2023年もありがとうございました！酸いも甘いも、楽しめましたでしょうか？36歳、卯年の僕は年男だったわけですが、それなりに心境の変化はありました。……そんなものは毎年あるのですが。特に今年は長男が小学生として初めての夏休みでしたので、そこが大きく影響したような気がします。冒頭でそんな流れになると思いませんでしたが…流れのまま、それを強く実感した1日のことを書きます。

・・・

その日（これは夏休みではなく春休みの終わり頃ぐらいでしょうか）、山で素敵なペンションをやってる友達の家に、意図せず息子と泊まらせてもらうことになりました。まあ、夕方ぐらいから楽しく酒を飲んでおりましたので、意図して、というのかな。

野沢で一番好きな温泉「滝の湯」にも入り、とても気分よくコテージ風の部屋で眠りにつきました。

そして翌朝は、木々の間から差し込むやわらかな朝日で目を覚ました。朝のおいしい空気を全身に取り込みながら一人で散歩して、みんなとゆっくり朝食をいただき、午前中は友達とそれぞれに子どもを連れて、山道を散歩しました。

山の上から村を見下ろしながら歩いていると「進み具合」が普段村の中を歩いて感じるそれと全く違うことに気づきます。とにかく速いんですよ。あっという間に坪山まで行ってしまいました。

子どもたちも、棒を振り回したり、残雪に足を滑らせたりと、全身で地球に生きる喜びを感じているようでした。

「この芽はな、」とか「あの山はな、」とか、毎日山を歩きながら子どもたちに教育できたら、なんて素敵なことだろう、とその時思いました。

そしてペンションに帰ってきて、またコーヒー（お酒だったかもしれない）をいただき、ボーッとする時間……。こんな贅沢はなかなかありません。**いや、出来るんですよ。簡単に。出来るのにやってこなかったんですよ。そうやって贅沢に「時間」を味わうということを。**社会人になってからかな…？

今まで、予期せず「何もしない時間」が生まれると、なんだかソワソワしてしまって「あれ、いま何も生産的なことしてないけれど大丈夫？」と、どこか心が落ち着かない状況になってしまっていたのです。もったいないことですね。だって、そもそも仕事もそういう時間のためにこそしているのだから。

友達はというと「**いつもこんな感じだよ？**」と。

……正解だよキミ！キミこそが真の賢者だ！僕は大事なことを見落としてばかりいたようだ！と、彼に叫びました。えっと……もちろん心の中で。

久しぶりに長編を読みました

村上春樹の長編は全部読んできましたが、なぜか「騎士団長殺し」だけは、これまで手に取ることがありませんでした。ちょっと物騒なタイトルのせいか？いや、色々なタイミングでしょうかね。

ある雨上がりの秋の日、村の催し物で「子ども食堂」というものが公民館であり、ほぼタダみたいな金額で村のお母さん達が作る郷土料理をお昼にいただいてきました。とてもホクホクとした気持ちで、そのまま家族で村の図書館に寄って……そういう時に良い出会いはあるものです。

本作は村上春樹の作品でよく使われる「パラレルワールド（二つの物語が同時進行していく）」ではなく、時間軸としては一つのストーリーなので、特に読みやすい部類になるかと思います。妻に離婚を告げられた肖像画家が、孤立した山小屋で生活を送り、そこで起こる様々な出来事を描いた作品です。同氏の数ある長編の中で、僕は好きな方ですね。おそらく「グレート・ギャツビー」を元ネタにしたと思われる「免色（メンシキ）さん」について書かれている部分が、礼儀正しく、ミステリアスで、妙に心地良く…なんだかクセになります。

本作も、いわゆる「ファンタジー（非現実）」の世界が入ってくるのですが、いつも読んでいるうちに「**実際、現実ってむしろ、そっちなんじゃあ…？**」という気がしてきます。（だから「ファンタジー」って言葉も本当はしっくりと来ていない）今、僕らが生きて、目に見えている世界って？メタファー？……子どもの頃からその答えを探し求めて今に至ります。

ハッピー・ファミリー・スキー！

「久保田食堂」さんで。昔ながらの雰囲気がとても心地よいです。今日もいい味出してます。

この日はじぃじぃも一緒に。三代で揃ってスキーが出来るのって、きっと幸せなことですね。

今年は11月にスキー場がオープンしました。

我が家は12/3の日曜日に初滑り。子どもが「スキーいきたーい！」って元気よく叫ぶのは実に嬉しいものですね。大変だけれど。

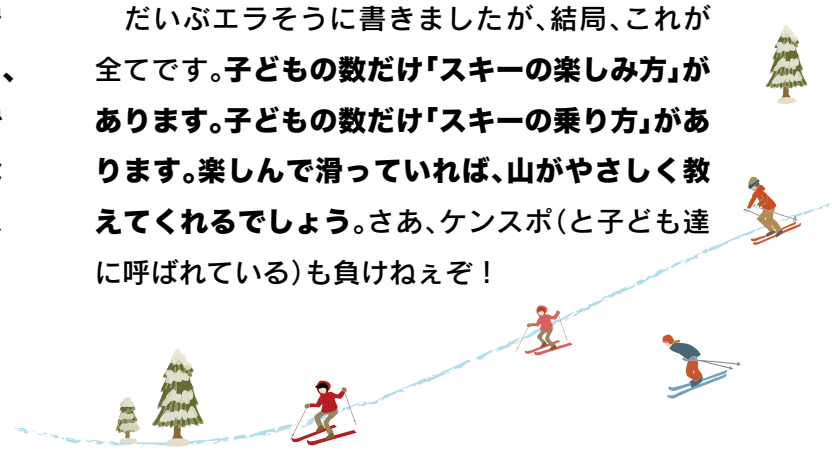
3歳を背中に背負い、5歳のロープ持って滑る妻に感謝です。

みんなでスキーに行くと、いったん全ての不安（のようなもの）がなくなります。**あの景色の中、全身を動かし、風を切って滑っていると「これでいいんだ…」**という気持ちになれます。**もし、あなたが人生に迷ったなら、なにも考えずひとまずスキーです。**

今シーズンも引き続き、Jr.Jr.（小学1～3年生）のコーチをやらせていただきます。色々な方の話を聞き、よく考えた結果、僕の方針は明確になりました。

…ウホン、「**全力で楽しめ。連れて行ってやるから、勝手に上手くなれ。**」

だいぶエラそうに書きましたが、結局、これが全てです。**子どもの数だけ「スキーの楽しみ方」があります。子どもの数だけ「スキーの乗り方」があります。楽しんで滑っていれば、山がやさしく教えてくれるでしょう。**さあ、ケンスポ（と子ども達に呼ばれている）も負けねぇぞ！



いつも読んでいただいている皆さまへ……

会社のルールも最近はちょっとキビしくなり、今までの「KENTIMES」やホームページなど、ただいま修正中です！
インタビューなども引き続きやらせていただきますので、どうかお楽しみに～！

Contact Address

【連絡先】河野 謙（こうのけん）

住　所／ 下高井郡野沢温泉村豊郷9829(横落・Fujiyoshi)
携　帯／ 080-1294-5162
メール／ fp.konoken@gmail.com